

《11/5(水) 第62回民間放送全国大会 会場で発表》

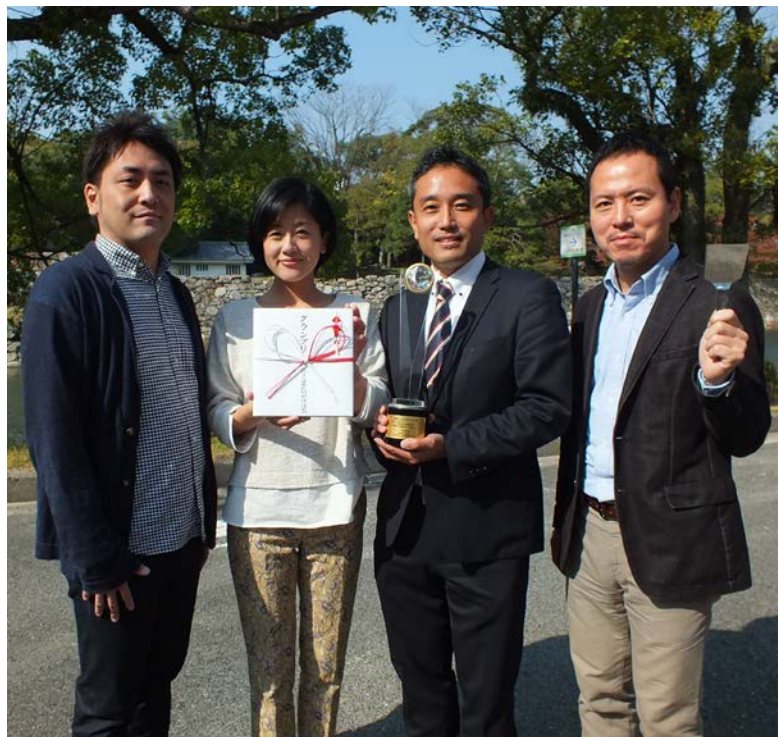
第10回 日本放送文化大賞 ラジオ部門 「ラブ&ピース！お好み焼き」 グランプリ獲得！

“視聴者・聴取者の期待に応えるとともに、放送文化の向上に寄与した”と評価される番組を顕彰する、今年度の日本放送文化大賞が発表され、ラジオ部門で中国放送制作「ラブ&ピース！お好み焼き」がグランプリを獲得。昨年度放送されたラジオ番組の中で最高の栄誉を手に入れました。

「ラブ&ピース！お好み焼き」は、昨年8月6日・原爆の日に放送した特別番組で、広島名物の「お好み焼き」の歴史を掘り起こし、広島の再生とそこで生き抜いた市民の姿を描いたものです。

お好み焼きという庶民的な食べものを通して、戦争・原爆・復興を見つめ、福島へ繋げるストーリー構成や、街の人のかざらない言葉を通して、深刻にならずに作り手のメッセージを伝える演出が評価されました。

中国放送がラジオ部門でグランプリを受賞するのは、第5回（2009年）に続いて2回目です。「ラブ&ピース！お好み焼き」は、3ヶ月以内に全国のラジオ局で放送されます。



制作スタッフ

取材・編集担当 猪野竜平
取材レポート担当 桜井弘規
ナレーション担当 伊藤文

表彰式での武田信晃プロデューサー
兼ディレクター